

川崎市

支援事業に参加した成果

- これまで精神障害者の地域移行・地域定着支援を実施してこなかった相談支援センターによる個別支援を、密着アドバイザー（コーディネーター）とともに実施
- 精神科病院と地域関係機関の顔の見える関係づくりをめざし、「地域移行（退院）に向けた院内外プログラム」について、共同した取組の検討を開始

支援事業での取組

- 研修会の開催 H30年2月1日（木）14:00～ 生田病院 会議室 51人の参加
- アドバイザー会議の開催 2月1日までに8回開催
- 広域アドバイザーの役割 アドバイザー会議に出席し事業実施に向けた助言、研修会での講師
- 密着アドバイザーの役割 モデル地域での事業の企画・運営調整・支援実施

モデル圏域における具体的な取組

- モデル事業実施に向けた北部地区関係機関への事業説明、普及啓発（平成29年実施・計15回）
 - 8月 川崎市地域自立支援協議会精神障害者地域移行・地域定着支援部会（他10・12月・計3回）
 - 9月 精神科病院管理者等へ説明、北部メンタルヘルスネットワーク会議（他12月・計2回）
 - 10月 精神科病院職員へ説明、多摩区相談支援センター連絡会、麻生区相談支援センター連絡会
区役所障害者支援係長会議、市内相談支援センター・区役所合同連絡会
 - 11月 多摩区地域生活支援センター、麻生区地域生活支援センター、区役所保護課職員
 - 12月 多摩区自立支援協議会、麻生区自立支援協議会
- 精神科病院での地域移行支援対象者の選出との相談支援センターによる個別支援の実施
- 精神科病院での地域移行（退院）に向けた退院プログラムの検討

モデル圏域における退院支援の状況

- 退院支援を実施した者の人数 3人（H29年12月より支援開始）
（うち、退院した者の人数 0人）

平成30年度 取組方針

- 引き続き構築支援事業を活用したモデル地区での取組の継続
 - ・コーディネーター（密着アドバイザー）バックアップによる、入院患者への個別支援を継続
 - ・精神科病院において「地域移行に向けた退院プログラム」を関係機関及びピアサポーター等と共同で実施
 - ・研修会の開催（事業実施で得られた課題、今後の方向性の共有）
 - ・北部地区ネットワーク及び全市に向けた実施状況の情報発信
- 今後の南部・中部地区での展開に向けた戦略の検討